神勝禅寺 洗庭

彫刻家・名和晃平氏が率いるクリエイティブ・プラットフォーム SANDWICH 設計の「洗庭」は、近づくにつれ地面からせりあがってくるように見えます。洗庭は印象的な建造物ですが、同時にアートインスタレーションでもあるという点で神勝寺の他のどの建造物とも異なります。船のような形をしており、石を敷き詰めた地面に立てられた高い支柱に支えられています。固いコンクリート製ですが、建物の柔らかい曲線に沿って波打つように見える 590,000 枚ものサワラ材の板に覆われているので軽そうで、今にも船出しそうです。屋根もサワラ材で覆われています。屋根のサワラ材の色は時と共に濃くなりましたが、下側のサワラ材は薄い色を保ったままです。

曲がりくねった道を上がっていくと洗庭内部につながる入り口が現れます。中に入ると、禅の瞑想で体験される世界を模した名和氏デザインのインスタレーションが迎えてくれます。混みあう時間帯には行列ができることもありますが、待たされたイライラも名和氏のアートですっかり解消されてしまいます。